



例会報告	第992回	2014年9月10日
例会日	水曜日 12:30~13:30	
例会場	ハピオ2F	
創立	平成5年10月19日	
会長	白木 幸久	
副会長	佐治 清	
幹事	行木 隼人	
事務局	河東郡音更町木野大通西7丁目1 ハピオ木野内	

起立：向平 敏孝SAA 点鐘：白木 幸久会長 開会宣言：向平 敏孝SAA

## 会長挨拶

本日は、今期10回目の例会に出席いただき、まことにありがとうございます。

広島土砂災害から、ちょうど3週間がたちました。その惨状に心を痛め、すでに、義援金を出された方も多いとは思いますが、2500地区でも義援金を集めていますので、ご協力をよろしくお願い致します。

先ほど、泰源寺さんの先代住職の葬儀に出勤してきました。僧侶が総勢50人、2時間にもわたる葬儀でした。先代ご住職さんと面識のある方も多いのではないかと思います。いつもにこやかで、まさに「和顔愛語」の面影が思い返されます。

「和顔愛語」とは、文字通り、「和らぎの顔、愛しみの語り」です。いつも穏やかな顔でいれば、心も穏やかになります。いつも思いやりのある言葉をかけていれば、心もやさしくなります。これは、言うなれば「心の習慣付け」です。

心にギスギスした習慣が付いていれば、生活もギスギスして、自分や周りも苦しくなります。心が穏やかでやさしい習慣が身に付いていれば、自分も周りも楽に過ごせようになります。

しかしながら、いつも気分よく人に接したいと思っても、なかなかそうはいきません。自分の思い通りにならなかつたり、他人から責められたり、そんな時、穏やかにやさしく接することなど、なかなかできません。つい、かつとなり応酬してしまいがちです。それでは、ギスギスした心になってしまいます。そんな場合でも、和顔愛語に努めていくことが大切です。変な奴と思われても、他人の評価を気にする必要はありません。和顔愛語は、仏道修行なのです。周りを丸く温かくする布施なのです。

アメリカ大統領リンカーンは「40歳を過ぎた人間は、自分の顔に責任を持たなくてはならない」と言いました。40年もの人生でもって培った心・人柄が自然と顔ににじみ出てくるからです。このロータリー道場で、お互いに接するなかで、和顔愛語を心がけていきましょう。



# 和顔愛語 (わげんあいご)

クラブ協議会・公式訪問リハーサル



出席報告

出席委員長：長屋正宏

	例会数	計算に用いる会員数	ホームクラブ出席者	メイクアップ	欠席	出席率
前回	38	14				36.8%
今回						

次週からのプログラム

- 9月19日(金) ガバナー公式訪問 8:30～ (理事会・クラブ協議会)
- 9月24日(水) 社会奉仕活動例会 14:00～ 交通事故防止街頭啓発 (社会奉仕委員会)
- 10月 1日(水) 夜間運動例会 18:30～ ジョイフィット (会員増強委員会)
- 10月 8日(水) ライラセミナー報告会 12:30～ (青少年育成委員会)

例会案内

- 月曜日> 広尾 R C : 日高信金広尾支店2F <水曜日> 音更 R C : ハピオ木野コミュニティホール <木曜日> 足寄 R C : 足寄銀河ホール
- 帯広南 R C : 北海道ホテル 帯広 R C : ホテルノースランド帯広 清水 R C : 清水町中央公民館
- <火曜日> 芽室 R C : めむろーど2FセミナーホールⅡ 上士幌 R C : 川村会館 帯広西 R C : 北海道ホテル
- 帯広東 R C : 帯広ワシントンホテル <金曜日> 帯広北 R C : ホテルノースランド帯広

発行元：音更ロータリークラブ 会報委員会  
 広瀬、竹田、長屋、坂本、大和、佐藤、作田、黒川、平尾、田中、中西、高山

今月の会報担当者：大和